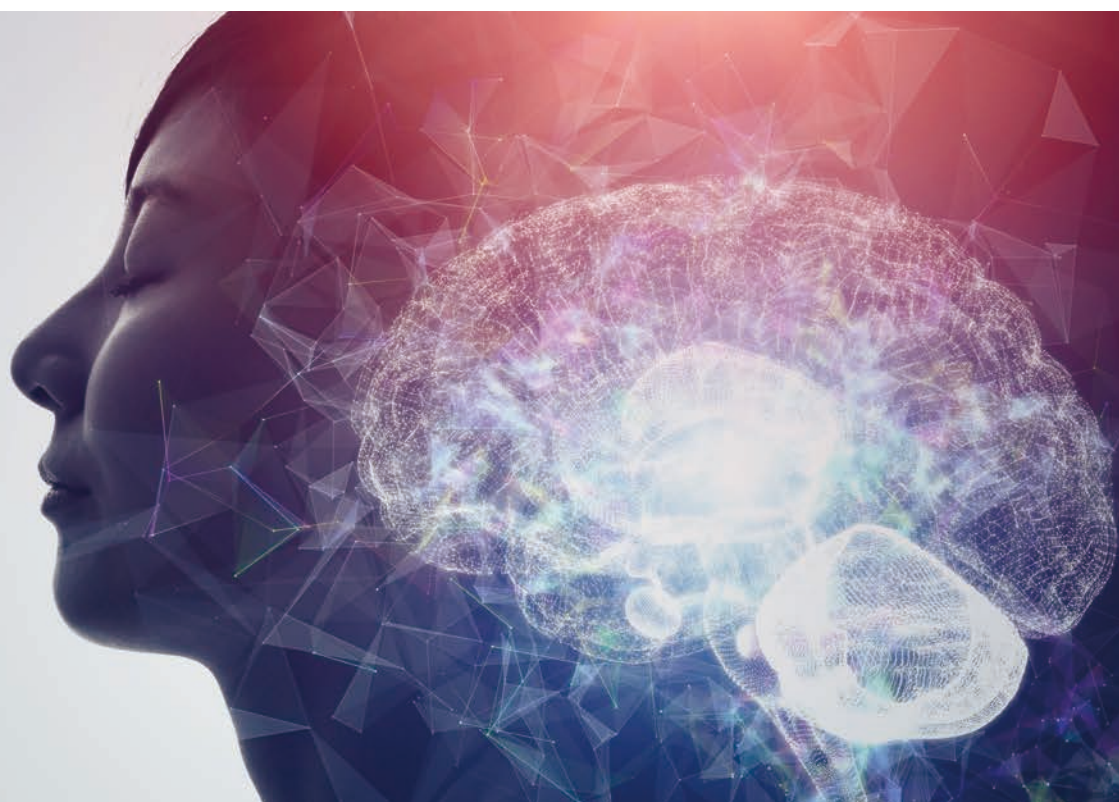




千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学

神経難病の病態解明・
治療法確立を目指して



神経難病研究支援プロジェクト

ご支援のお願い

神経難病研究支援プロジェクト — 脳神経内科学

神経難病の病態解明・
治療法確立を目指して

ご支援のお願い

千葉大学大学院医学研究院
脳神経内科学 教授
桑原 聡



21世紀は“脳の世紀”と呼ばれ、画像診断、分子・細胞生物学、神経生理学などの急速な進歩により、これまで難治性といわれてきた多くの神経疾患について詳細な病態が明らかとなってきています。こうした神経難病の病態解明に向けた研究を更に一歩先へと進めるとともに、新規治療法を開発して社会に貢献することが私たち脳神経内科学講座の使命と考えています。脳神経内科学講座では1978年の教室開設以来、いわゆる神経難病の臨床・研究に尽力しており、認知症疾患、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症といった神経変性疾患、多発性硬化症、視神経脊髄炎、重症筋無力症といった神経免疫疾患、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経根炎、POEMS症候群といった末梢神経疾患など多様な疾患を対象として世界に誇るべき研究成果を産み出してきました。製薬企業による治験がすすみにくい希少疾患に対する医師主導治験として、「POEMS症候群に対するサリドマイド療法」の治験を完遂し、薬事法の承認までつなげた例がその一端となります。さらに、2023年からは脳卒中ケアユニットを開設し、脳卒中の診療・研究にも力を注いでいます。

一方で、研究成果を産み出すもとなる研究費については、国からの運営費交付金が大きく減少し、様々な研究費を獲得しても十分な資金を確保できない状況となっております。神経難病の研究を更に推進するために、是非皆様のご篤志による支援を賜れば、大変ありがたく存じます。



取り組みの概要 各専門グループの有機的な協働により、多様な神経難病にアプローチ

遺伝性神経筋疾患G

シャルコー・マリー・トゥース病
筋ジストロフィー

神経免疫疾患G

多発性硬化症、視神経脊髄炎、
抗MOG抗体関連疾患
重症筋無力症、頭痛

運動ニューロン疾患G

筋萎縮性側索硬化症
球脊髄性筋萎縮症

MRI
核医学
筋電図
経頭蓋磁気刺激検査
Tilt試験
発汗検査

末梢神経疾患G

ギラン・バレー症候群
POEMS症候群
慢性炎症性脱髄性多発神経根炎

認知症疾患G

アルツハイマー型認知症
レヴィー小体型認知症
前頭側頭型認知症

脳卒中G

脳梗塞
一過性脳虚血発作

パーキンソン病G

パーキンソン病、多系統萎縮症
進行性核上性麻痺、不随意運動
脊髄小脳変性症、大脳皮質基底核変性症

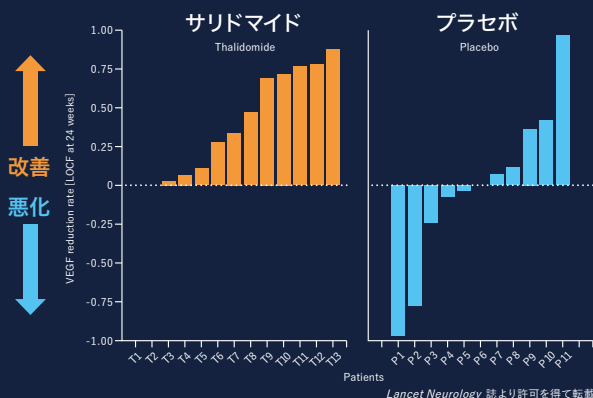
自律神経疾患G

特発性後天性全身性無汗症
純粋自律神経不全

神経難病の治療に直結した実績 (一部を抜粋)

POEMS症候群に対するサリドマイド療法

希少難病であるPOEMS症候群において、サリドマイド療法の有効性を示す世界初のランダム化臨床試験を、医師主導治験という形で完遂。本成果によりサリドマイド療法は2021年に薬事承認を得ました。



サリドマイドはVEGFを39%減少させ、症状を改善

各専門グループの代表的研究 (一部を抜粋)

- 次世代経頭蓋磁気刺激検査を用いた筋萎縮性側索硬化症病態解明・治療薬開発
- 重症筋無力症における免疫病態の解析 (補体、リンパ球、自己抗体、炎症誘導因子などの研究)、新規治療薬開発 (融合タンパクなど)
- 多発性硬化症・視神経脊髄炎・抗MOG抗体関連疾患など自己免疫性脳炎の病態解明、新規治療薬創出、自己抗体測定法の開発
- 血液・髄液・脳画像を用いた認知症疾患の統合的病態解明研究
- パーキンソン病における脳機能画像・病態治療研究
- 多系統萎縮症の病態解明・治療開発に資する画像バイオマーカー研究
- 希少な難治性神経疾患を対象とした診断支援AI開発



最後に

私たち千葉大学の脳神経内科学講座は、日本全国にある脳神経内科学講座のなかでも有数の規模を誇り、これまでも多数の研究成果を産み出してまいりました。POEMS症候群に対するサリドマイド療法のように、神経難病の治療法確立に直結する成果も得られています。皆様のご篤志による支援を賜れば、神経難病の更なる病態解明や新しい治療法の確立により、必ずや社会に貢献できると信じております。ご支援のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

ご寄付のお申し込み方法

千葉大みらい医療基金の指定する払込取扱票に必要事項（お名前 / ご住所 / お電話番号又はメールアドレス / 支援先に「脳神経内科学」）をご記入し、お近くの金融機関でお振込み手続きをお願いいたします。（追加の払込取扱票をご希望の方はお気軽にお問い合わせください。）

クレジットカードのお申し込みでは一定額を継続的に寄付出来る仕組みもございます。

※QRコードを読み取り後、「その他特定の研究分野への支援」に「脳神経内科学」とご記入下さい。

クレジットカードの
お申し込みはこちらから→



脳神経内科学HP
はこちらから→



顕彰制度

感謝の気持ちを含めて、寄付金額に応じて新医学部棟（治療学研究棟）4F ラウンジにて、ご芳名を刻印した銘板の掲示や記念品の贈呈をさせていただきます。また、ご寄付いただいた方には謝恩会へご招待するなど、各種、基金室よりご案内いたします。



新医学部棟 4F ラウンジに設置する寄付者顕彰銘板

皆様のお名前を刻み、永久に保存します。

謝意	個人	法人
クリスタル表彰プレート	100万円～	500万円～
銘板（大）の掲示	100万円～	500万円～
銘板（中）の掲示	50万円～	200万円～
銘板（小）の掲示	10万円～	50万円～
オリジナルペーパーウェイト	3万円～	10万円～
お名前をHPへ掲載	希望者全員	希望者全員



ペーパーウェイト

千葉医学のロゴがデスクを飾ります。



クリスタル表彰プレート

皆様のお名前を刻印し、私たちがお贈りいたします。

税法上の優遇措置

・個人のご寄付

寄付金控除制度を利用して、寄付金額から 2,000 円を差し引いた額で、所得控除を受ける事ができます（控除の対象となる寄付金額は総所得金額の 40%が上限）。詳細は本基金ホームページをご確認ください。

・法人のご寄付

法人様のご寄付はその金額を損金に算入可能です。損金算入の方法として、「特定公益増進法人に対する寄付金」があります。この制度を利用することで寄付金の損金算入限度額にかかわらず、全額損金算入することができます。

※寄付金領収書はおおよそ1ヶ月以内にお送り致します。

※12月中のお申込みの場合は翌年の領収日になってしまう可能性がありますので年内の領収日をご希望の場合は一度ご相談下さい。

ご不明な点がございましたら、基金室までお気軽にお問い合わせください。



千葉大みらい医療基金
～国民の安心・安全な未来を目指して～
千葉大学大学院医学研究院・医学部

☎043-226-2286

260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

<https://www.mirai-fund.chiba-u.jp>

千葉大みらい医療基金

